



2023年1月26日

各 位

会 社 名 インパクトホールディングス株式会社  
 代 表 者 代表取締役社長 福井 康夫  
 (コード番号：6067 東証グロース)  
 問合せ先 代表取締役副社長 寒河江 清人  
 (TEL. 03-5464-8321)

2022年12月期通期連結業績予想の下方修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、2022年2月22日に公表した2022年12月期通期業績予想（以下「前回発表予想」という）を下方修正することとしましたので、お知らせいたします

## 記

## 1. 2022年12月期連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 16,000	百万円 2,200	百万円 2,000	百万円 1,400	円銭 210.96
今回修正予想 (B)	14,588	1,755	1,734	1,241	188.33
増減額 (B-A)	△1,412	△445	△266	△159	—
増減率 (%)	△8.8	△20.2	△13.3	△11.3	—
(参考) 前期実績 (2021年12月期)	13,333	1,678	1,648	1,208	184.91

## 2. 修正の理由

2022年12月期第3四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、HRソリューション事業においては前期から本格的に展開をしている店舗 DB を軸にした販促施策提案によるサービスの付加価値の向上に伴い、大型案件の新規受注の獲得などを通じて収益性が確実に向上し、コロナ禍においても事業基盤を拡大しました。また、IoTソリューション事業においては、エレベーター内・美容室座席前などを広告媒体とする広告事業者向けにカスタマイズしたオンラインサイネージシステムや飲食チェーン向け DX 推進の一環として開始したテーブルトップオーダー（注1）端末などの高単価端末の出荷の増加により売上高が増加しました。更に、MRソリューション事業においては、物販・サービス業向けのコンプライアンス調査、テーマパーク向けのマーケティングリサーチ、世論調査など年間を通じた定例調査案件の増加により売上高が増加しました。

しかしながら、2022年12月期第4四半期においては、HRソリューション事業及びIoTソリューション事業は、来期以降、大型案件の引き合いが増加しており大幅な成長を見込まれるものの、今期につきましては消費財メーカー向けサイネージ一体型販促仕器の大型案件や特機（顧客のリクエストに応じてオリジナルで製造する端末）の納品が先方都合により来期にずれ込むこと、更に急速な円安の影響で原価が押し上げられたことから、2022年12月期連結業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも計画を下回る見込みとなりましたため、下方修正するものであります。

また、各セグメントのセグメント売上高、セグメント利益は下記の通りです。

(HR ソリューション事業)

HR ソリューション事業のセグメント売上高は 10,506 百万円（業績予想比 1.0%増）、セグメント利益は 1,309 百万円（同 0.8%増）となる見込みです。

(IoT ソリューション事業)

IoT ソリューション事業のセグメント売上高は 3,050 百万円（業績予想比 27.4%減）、セグメント利益は 550 百万円（同 54.2%減）となる見込みです。

(MR ソリューション事業)

MR ソリューション事業のセグメント売上高は 1,502 百万円（業績予想比 7.3%増）、セグメント利益は 441 百万円（同 33.8%増）となる見込みです。

なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は△470 百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用は△545 百万円を見込んでおります。

(注1) テーブルトップオーダーとは、主に飲食店などにおいて利用者自身がタッチパネル端末などを介して注文したい料理をオーダーするシステムの事です。

(注2) 本資料に記載されている業績予想数値等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいているものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上